

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第12号



◆ 本堂の玄関を飾る五月人形。

彼岸を過ぎると暖かい日が数日つづきました。春の雨を降らせませす。花冷え、花曇り、花の雨。晴れていたかと思ふと降り出し、降っていたかと思ふと雲の切れ間から日がこぼれている。緑りかえず、糸のようにやさしく降る雨は、穀物をうるおし新たないのちを育みます。

— 春雨の止む明るさに蜘蛛の糸

(汀女)

お寺ニュース



お経に親しみませんか？

今号より「知って納得。教えて仏教」にてお経の話が始まりました。右の写真のようなお経本を以前にお配りしましたがお持ちですか？もしお持ちでない方がいらっしゃいましたら、お気軽にお寺までご連絡下さい。無料で差し上げます。一緒に勉強いたしましょう。



◆ 平成15年の本堂庫裡落慶法要で御檀家の皆様に配布された経本です。

ひとくちコラム

境 内の雪もすっかり溶け、長かった北海道の冬も終わりいよいよ春。クロッカス、カタクリ、フキノトウ、キクザキイチゲ、お寺の庭には色とりどりの花がささやかに咲き始めました。生まれ変わり死に変わる生命を前にして、祈るよう一日一日を大切にしていきましょう。

住職



曹洞宗 慈眼山

広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14

TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500

✉ info@jigenzan.org



寺こやよりお知らせ



自分を見つめる！！

寺こや坐禅塾

シンプルなあなたにいったんリセット！

日時：5月28日（土）

午後4時～5時

（始まる10分前にはお越し下さい。）

参加費：100円

※ どなたでもご参加いただけます。

※ 足を組めない方にはイスをご用意しています。

梅花講よりお知らせ

梅花流詠讚歌

講員さん随時募集してます！！

毎週土曜日

午後1時半

～

午後3時半

梅花講創設メンバーの一人が先日お亡くなりになりました。

お通夜の席では現在の講員さんによって詠歌が奉詠されました。ご詠歌は亡き人を想い、生きる人を励まします。





第10回 「お経の話 その1」

「お経って何？」そのような疑問をお持ちになったことはありませんか。お経ってありがたい、聞いていると心がやすらぐ。けれど、お唱えしている内容はよくわからない…。そのようにお感じになっている人も多いでしょう。今号からは、曹洞宗でふだんお唱えしているお経についてお話しいたします。

月参りで読むお経？

月参りではさまざまなお経が読まれますが、もっともよく読まれるのが『妙法蓮華経如来寿量品偈』というお経です。タイトルをみて「ワッ漢字だらけ…長い」と思った方も、『法華経』の一部分と言われればフムフムと納得するでしょう。また、お経の最初のフレーズをとって、一般的に『我が我偈』とも呼ばれます。他の宗派と同様に、曹洞宗でも『法華経』を誦します。曹洞宗をひらかれた道元禅師様も、『法華経』のすばらしさを讃えています。

妙法蓮華経如来寿量品偈
【みょうほうれんげきょうによらいじゅりょうほんげ】

◆お経本の
60頁です。

このお経で伝えたいこと

お釈迦様は実在した人物。むかしのインドではじめて仏教をお説きになりました。そのお釈迦様は80歳の寿命でお亡くなりになります。しかし、2500年経った今もお釈迦様は私たちのために一生懸命に仏の教えを説いているのだと、このお経は伝えます。

自分を親身に支え励ましてくれた人、敬愛してやまない人が死んだとき、私たちはどのように思うのでしょうか。きれいさっぱり忘れられるのでしょうか。いいえ、その人に会いたい、もう一度その声が聞きたいと心から願うはずです。

そのように、素直で清らかな心でお釈迦様の教えを聞きたいと願ったとき、お釈迦様の身体は見えなくても、その教えは常に私たちのそばにあり私たちに正しき道を示してくれます。



是非伝えたい、この一節

お経の一番最後の部分です。

【本文】

まいじーさーぜーねん
毎時作是念
いーがーりょうしゅうじょう
以何令衆生
とくにゅうむーじょうどう
得入無上道
そくじょうじゅうぶっしん
速成就仏身

【和文】

つねに自らこの念をなす
何をもってか衆生をして
無上道に入り速やかに
仏身を成就することを
得せしめんと

【現代語訳】

お釈迦様はいつもこのように心に念じているのです。「どのようにすれば、私たちが仏のいのちとして今生き生きと働いているこの真実にすみやかに気づき、仏となることができるのだろうか」と。

お仏壇のご本尊を前にして手を合わせたとき、お釈迦様はこのようにおっしゃっているのです。お釈迦様はまるで月のように私たちを見守っています。時にきびしく時にあたたかに見守るその姿を、疑いの心という雲で覆い隠してはなりません。お釈迦様はいつもあなたを励ましてくれています。